

濃い！だから省力。

～水稻側条施肥の省力化～

概要 Abstract

高窒素成分肥料を活用して、水稻の側条施肥を省力化しました。

成果 Results

溶出の早い、被覆尿素を使うことで大幅に窒素成分を高めた肥料を利用します。

試験した肥料の場合、これまでの側条用肥料と比べると窒素成分が2.5倍で、60%も少ない使用量で済みますし、同じ機械でも2倍以上の面積に側条施肥できます。

もちろん、水稻の初期生育や収量、そしてタンパク質含有率などの品質はこれまでと同等です。

この高窒素成分肥料はこれまでより安価（窒素成分量で換算して）で市販予定です。



写真 試験した肥料

窒素成分が35%

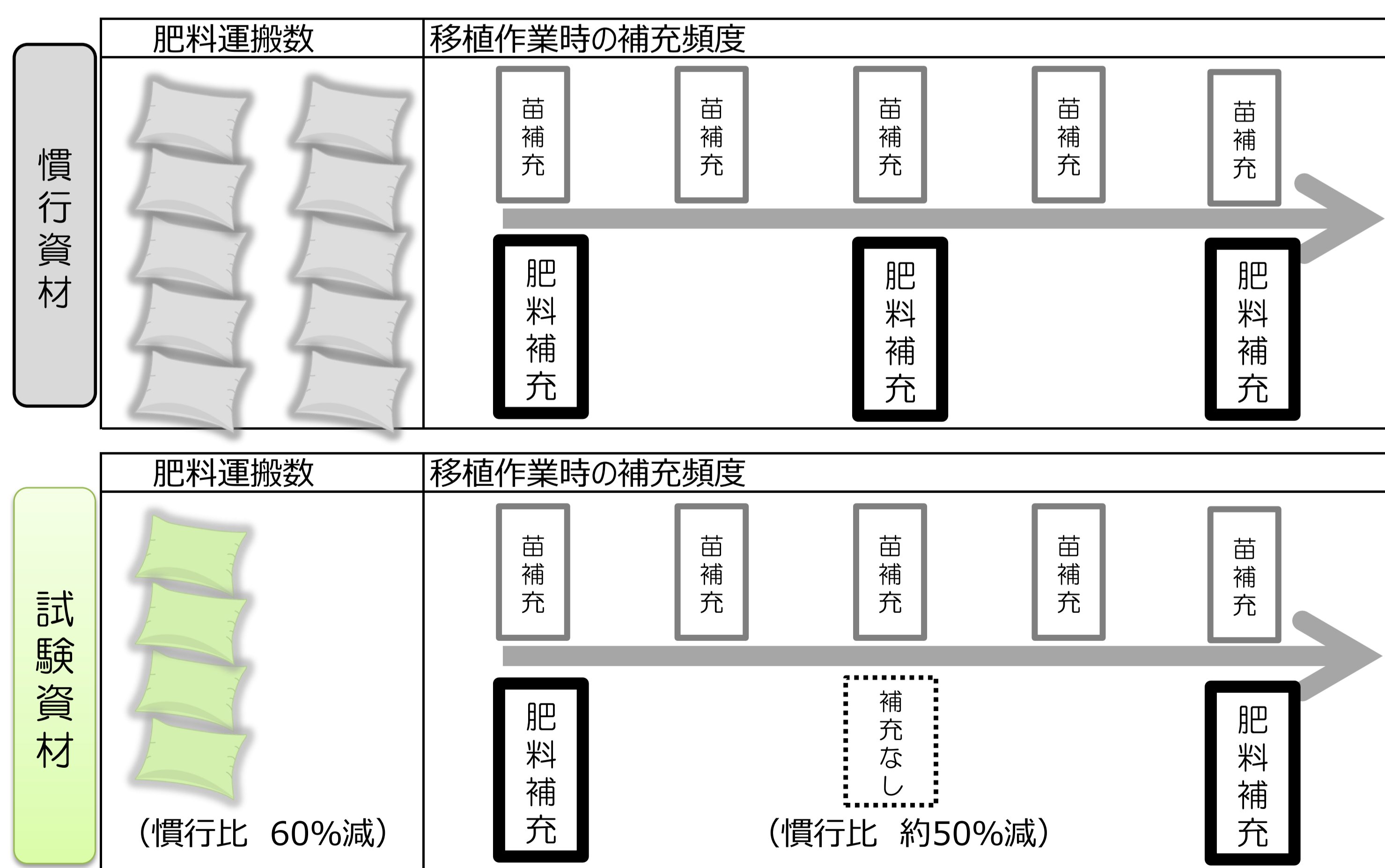
（うちリニア型15日タイプ被覆尿素が30%）

リン酸成分が14%、加里成分は含まれない。

表 面積当たり使用量と補充回数

資材	窒素成分 (%)	容積重 (kg L ⁻¹)	10L容器に搭載できる窒素量 (kgN)	2ha圃場での使用量* (袋)	2ha圃場での補充回数* (回)
慣行資材	14	0.835	1.17	28.6	8.8
試験資材 (慣行資材を100とした比)	35 (250)	0.694 (83)	2.43 (208)	11.4 (40)	4.2 (48)

*) 側条施肥ホップの容量が13Lである移植機（6条）を利用し、側条施肥窒素量を4.0kgN/10aとする条件での理論値。一袋は20kg入りとした。



模式図 省力化の一例

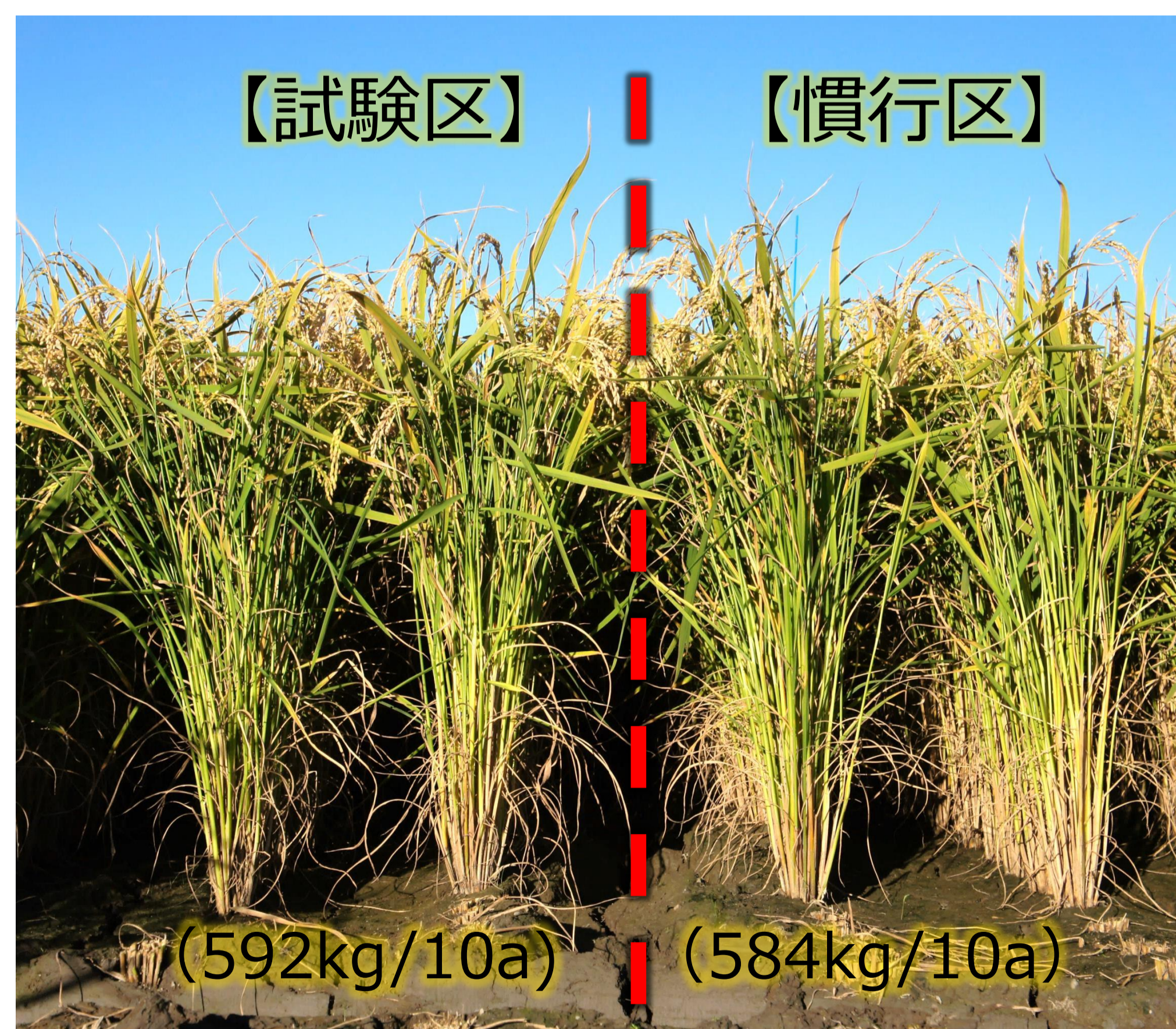


写真 収穫を迎えた稲

下部（ ）は水稻の平均収量

普及 Dissemination

- (1) 水稻側条施肥における側条用肥料の補充回数削減などの省力化に活用する。
- (2) 窒素の溶出が早い被覆尿素（25℃で80%の窒素が溶出する日数が15日以内）を利用した高窒素成分肥料を選択し、側条施肥機を肥料成分量や容積重を反映させた側条施肥量に調整すること。
- (3) 施肥量は施肥ガイド2015を遵守し、必要な施肥量の増減は全層施肥分で行う。

連絡先 Contact

中央農業試験場
生産研究部 水田農業グループ
0126-26-1518
central-agri@hro.or.jp